



子供たちは冒険者!

校長 曾山 志保

男の子			女の子		
1	1	スポーツ選手	1	1	漫画家・イラスト
2	2	研究者	2	3	医師
3	4	IT関係	3	2	教員
4	7	医師	4	5	看護師
5	8	会社員	5	5	保育士
6	3	ゲームクリエイター	6	8	美容師
7	8	教員	7	4	動物園 遊園地
8	12	料理人	8	7	パティシエ パン
9	6	エンジニア	9	14	医療関係
10	5	建築家	10	11	薬剤師

(太字の数字はR6, 細字の数字はR5の順位です。)

左の表は、「クラレ」というランドセルに使われる素材を扱う会社が、今年3月に、卒業を前にした小学6年生を対象に「将来就きたい職業」を聞いた調査結果です。

子供たちが就きたいと思う職業が幅広くランキングされていて、自分事のようにわくわくした気持ちになりました。

今この世界は、「VUCA(ブーカ)」の時代と言われています。「VUCA」とは、「変化しやすい」・「物事や状況が変動的で予測が困難」・「多様な要素が関連し問題解決が困難」・「明快な意思決定を下しにくい状態」というそれぞれの意味する英語の頭文字をとった

言葉です。実際、世界情勢や気候変動等で、私たちの周りにも想定外の現象が多々起きています。予測不能な社会の時代となっているということです。そのため、OECD(経済協力機構)の議論においても、これまでは「変わりゆく社会にどう対応していくか」という受動的な議論から、「VUCA」の時代である現在では、「どのような社会を作り上げたいか」という能動的な議論に変わってきているのだそうです。そして、そのことを受けて教育の在り方もWell-being(個人や社会のより良い状態)を目指し、実現したい未来を創造する力を子供たちに育むための教育へと変化してきています。

先日、ある講演会で、「子供たちは冒険者です。子供たちは将来にわたり、未知の世界を冒険していく時代を生きていくこととなります。自分たちで問題解決を繰り返しながら、よりより状態へとたどり着けるように学び続けていく。子供たちの冒険は、『実現したい未来を創造する冒険』なのです。未来を創造するためには、『非認知能力』が重要な役割を担います。子供たちが本人に必要な非認知能力を伸ばしていくためには、様々な人と出会い、多くの経験をして、そこから学ぶことで、自らの力として獲得していくのです。」と講師の先生は言われていました。「非認知能力」というのは、「やる気」とか「我慢する力」とか「コミュニケーション力」など、普段からよく知られている目には見えない能力のことを指します。

教育経済学者の中室牧子さんも著書の中で「学校は、知識や技術を学ぶだけではなく、学校にいる全ての人から多くのことを学び『非認知能力』を培う場所である。」と記されています。

現在、鹿児島市全体でこの非認知能力を高めながら、子供たちの生きる力を育む教育を推進しています。本校も、子供たちに目標に向かって「やりぬく力」や自分の考えや意見を「発信する力」、「自他を認め合う力」を教育活動の中で培っていきこうと進めています。

予測不能な社会にあっても、冒頭の就きたい職業ランキングにあるように、子供たちが将来の自分の姿を想像し、「これをやってみよう。」「あれも試してみよう。」と生き生きと挑戦できる一助となれるよう、学校全体で研鑽を積んで参ります。

◇非認知能力の大事な役割

- ◎目標を達成する力・・・自制心・粘り強さ・やる気
- ◎自分と向き合う力・・・自己分析力・自己肯定感
- ◎他人とつきあう力・・・社交性・ボランティア精神



日曜参観・もちつき大会！



11月17日(日)に日曜参観・もちつき大会が行われました。日曜参観では、1校時に心の教育の日と位置付けて全学年で道徳を実施しました。子供達が自分事として真剣に考える姿が印象的でした。また、2・3校時は親子ふれあい活動として図工や総合、学活など各学年で工夫して活動を行いました。親子で吉田かるたづくりをしたり、工作をしたりと充実した親子ふれあい活動となりました。

4・5校時は子供達が待ち望んでいたもちつき大会が行われました。これまで「泥遊び」・「田植え」・「稲刈り・落ち穂拾い」・「脱穀」と頑張ってきた子供達…。子供達が育てたお米は5・6年生が責任をもって販売し、販売分は全て売り切れました。また、各学年でもちつきをして、おいしく出来上がったもちを食べる子供達の姿が印象的でした。

これまで学習田を見守ってくださった枇椰さんはじめ地域の方々、草払いやこれまでの稲作活動に中心となって取り組んでくださった生活環境部長の梶原さんはじめ生活環境部の皆さん、もちつき大会の準備から調理までご協力くださいました保護者の皆様、本当にありがとうございました。



道徳(心の教育の日)



親子ふれあい活動



おいしいもちができました



地域が育む「かごしまの教育」県民週間

11月1日～11月7日は、地域が育む「かごしまの教育」県民週間が実施されました。県民週間中にご参加いただきました地域や保護者の皆様ありがとうございました。日常の子供達の様子はいかがだったでしょうか。この期間には、「秋まつり」や「給食試食会」(1・2年生の保護者対象)も行われました。「秋まつり」のためにドングリやマツボックリ等を使って、たくさんの遊びを行うことができました。また、給食試食会では、日頃のおいしい給食を親子で一緒に楽しく食べることができました。実りの秋・食欲の秋を感じることでできる活動となりました。



秋まつり



給食試食会



12月4日(水)校内持久走大会

来たる12月4日(水)の3・4校時に校内持久走大会を実施する予定です。(雨天の場合は12月6日(金)へ延期します)

子供達は、これまで毎日、朝や体育の時間等に練習に励んできました。

10時55分～11時40分の時間帯に思川横のウォーキングロードを走る予定となっておりますので車両通行についてご理解・ご協力をよろしくお願いします。

12月の行事予定

- 1日(月) 暗唱チャレンジ週間(～14日)
- 校内評価週間(～6日)
- 4日(水) 校内持久走大会・学級PTA
家庭教育学級
- 6日(金) 校内持久走大会予備日
- 9日(月) 人権週間(～14日)
- 12日(木) 人権教室
- 13日(金) 小中交流タイム
- 14日(土) 土曜授業
- 17日(火) 誕生月給食(12月生まれ)
- 23日(月) 子どもといっしょに読書の日
- 24日(火) 終業式・大掃除